

平塚西ロータリークラブ 週報

会長 齋藤 宙也
幹事 柳川 克美
エレクト
週報担当 近藤 直樹

創立 1976年6月23日
例会日 月3回水曜日 12:30より
例会場 カルチャーボンス平塚
平塚市平塚 5-32-12
TEL 0463-34-9911

事務局
〒254-0045 平塚市見附町 32-7
TEL 0463-33-1475
FAX 0463-33-8676
E-Mail : office@hiratsuka-w-rc.jp

第2157回 2022年11月2日(水)☀

出席報告	総会員数	計算対象数	出席会員数	今回出席率	メイクアップ	修正出席率
		28名	26名	21名	80.77%	0名

◆ 会長挨拶 ◆

冒頭、ソウルの繁華街における大事故の犠牲者に、謹んでお悔やみ申し上げます。

今年も、残すところあと2か月になりました。しばらくは、昼間は過ごしやすく、夜になると少し寒くなってきて、そろそろこたつを入れようかという時期になってきました。

ロータリーでは、財団月間です。このクラブは、トータルの寄附額が大きいので、結果的に地区で表彰されることになり、地区大会では、私も他力本願で表彰を受けることができました。しかし、寄附人数という裾野として考えると、さほど広くはありません。寄附をする人が偏るといふ原因が、財団の意義が浸透していないからだと言われます。しかし、それだけであれば、その気になればいくらでも啓発することができるでしょう。個人的には、もっと単純で、いかんともし難い原因があるのではないかと思います。要するに、単に寄附をする経済的余裕が低下しているのではないかということです。バブル期ならいざ知らず、景気低迷とか、一億層中流が終わったという中で、何十万円も気前良く寄附できる人自体が、ロータリアンであっても減っているのではないかということです。私自身もそうであり、特に自律神経失調になってからは、売上を上げるのも厳しく、現状維持で手一杯です。会費が入会の足かせになっているとすれば、そういう人は会費を払うので精一杯で、どうやって寄附までできるのかということにもなります。しかも、円安が進み、ドル建ての寄附が難しい時代になってしまいました。こればかりは、財団の意義を幾ら強調されたところで、払えるようになるというものではありません。日本は、寄附文化自体が乏しく、今や世界一自己責任に走っている国とも言われています。

アメリカの富豪は、ノーブレスオブリージュで慈善事業の財団を作ったり多額の寄附をしますが、日本の富豪は、伝統的な地主であればいざ知らず、私が見えている限りでは、稼ぐが勝ちで、後はネット上で弱者を踏み付けにするばかりです。

ロータリアンが先頭に立って、ノーブレスオブリージュの範を示したいところですが、私自身それができていないのがじくじたる思いです。財団の卓話といえ、地区の委員会に頼む手もありますが、当クラブにははるかに適任者がいらっしやいます。本来、入会して日の浅い会員にこそ聞いてもらいたいのですが、出席状況からして、どこまで届くのかというミスマッチも抱えています。そのため、依頼するのも気が引けてしましますが、山田会員にお願いしています。経済的制約はともかくとしても、少しでも寄附の背中を押していただけることを期待しております。

◆ ロータリーの各財団の基礎 ◆



山田会員によるロータリー各財団についての基礎知識や歴史の卓話

ロータリー財団の概要

皆様の寛大なご寄付は、ロータリー財団を通じて持続可能な奉仕プロジェクトへと生まれ変わります

- ポリオの根絶
- 安全な水の提供
- 難民への医療支援
- 平和の推進
- 母子の安全な環境づくり
- 被災地域の復興
- ロータリー平和フェローシップなど 数多くの活動を支援しています。



Rotary

平塚西ロータリークラブ

平塚西RC財団月間卓話 2022.11.2

2

ロータリー財団の使命

財団の使命は、
人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、
環境保全に取り組み、
貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、
平和を促進することです。



Rotary

平塚西ロータリークラブ

60セントで、1人の子どものポリオから守ることができます

平塚西RC財団月間卓話 2022.11.2

3

初期の財団プログラム: 大学院奨学金 (1947年)

Paul Harris FELLOWS			
PAUL HARRIS The first fellow was Paul Harris, the founder of Rotary International.	STEWART COOE MASON The second fellow was Stewart Cooe Mason, a prominent businessman and philanthropist.	KERSEY GOODWIN DAVIES The third fellow was Kersey Goodwin Davies, a distinguished educator and administrator.	HAROLD KALLMAN The fourth fellow was Harold Kallman, a successful industrialist and community leader.
EVERETT E. ACLAND The fifth fellow was Everett E. Acland, a prominent lawyer and public servant.	ROBERT EARL BOYD The sixth fellow was Robert Earl Boyd, a distinguished scientist and educator.	HERMAN G. SCHMEITZEL The seventh fellow was Herman G. Schmeitzel, a prominent businessman and philanthropist.	JEROME MCELROY The eighth fellow was Jerome McElroy, a distinguished educator and administrator.
ARTHUR WESTON ALVAN The ninth fellow was Arthur Weston Alvan, a prominent businessman and philanthropist.	EDWIN TOLIVER BOGWELL, JR. The tenth fellow was Edwin Toliver Bogwell, Jr., a prominent businessman and philanthropist.	JACQUES FERNS BOUDART The eleventh fellow was Jacques Ferns Boudart, a distinguished educator and administrator.	BENSON AMBROSE The twelfth fellow was Benson Ambrose, a prominent businessman and philanthropist.
WILLIAM PRESTON BARBER The thirteenth fellow was William Preston Barber, a prominent businessman and philanthropist.	JACK ROLAND BOYD The fourteenth fellow was Jack Roland Boyd, a distinguished scientist and educator.	RONALD HOMER NAGDY The fifteenth fellow was Ronald Homer Nagdy, a prominent businessman and philanthropist.	PETER MARBRIDGE GREEN The sixteenth fellow was Peter Marbridge Green, a distinguished educator and administrator.
STEPHEN DAVIS WOOD The seventeenth fellow was Stephen Davis Wood, a prominent businessman and philanthropist.	JACK EDWIN CRESSMAN The eighteenth fellow was Jack Edwin Cressman, a prominent businessman and philanthropist.	JAY KEARY JOHNSON The nineteenth fellow was Jay Keary Johnson, a prominent businessman and philanthropist.	CARL DWIGHT WU The twentieth fellow was Carl Dwight Wu, a prominent businessman and philanthropist.



緒方貞子氏 (2期生)

Rotary

平塚西ロータリークラブ

国連軍縮担当上級代表(事務次長)に就任された中満泉氏も財団奨学生

平塚西RC財団月間卓話 2022.11.2

10

1985年「ポリオプラス」プログラムを創設



ポリオワクチン以外の感染症対策にも活用

Rotary

平塚西ロータリークラブ

平塚西RC財団月間卓話 2022.11.2

14

◆ 幹事報告 ◆

●第 2780 地区より●

*世界ポリオデーフォトコンテスト申込期限の延長について
締め切り：11月3日(祝・木)事務局まで

*2023年決議審議会への決議案提出のお願い
提出期限：2023年2月20日(月)事務局まで

●ロータリー日本財団より●

*レートは148円/ドル

◆ 受理 ◆

*ロータリーの友

*11月「ロータリー財団月間」のリソース

◆ スマイル ◆

◆山田会員◆

本日は会長の命により「財団月間卓話」をさせていただきます。面白くない話にお付き合いください。

◆吉川会員◆

山田会員、ロータリー財団についての卓話楽しみにしています。

◆成田会員◆

山田さん、本日の卓話宜しくお祈いします。

◆関口会員◆

山田さん、本日は勉強させていただきます。宜しくお願いします。

◆近藤(直)会員◆

先週の日曜日に電気工事士の試験を受けてきました。とても難しかったです。

山田会員、本日の卓話宜しくお祈いします。

◆平野会員・小玉会員・大畑会員・久保田会員・荒井会員・瀬尾会員・小泉会員・石塚会員・片倉会員・柳川(克)会員・小網会員・大滝会員◆

本日の卓話、山田会員宜しくお祈いします。

6月に入会された住友生命保険、大滝支社長の転勤が決まりました。短い期間でしたが。ありがとうございました。



◆ 次回例会 ◆

11月16日(水)

落合克宏平塚市長 卓話